

地域の自然を知ろう!守ろう!伝えよう!

A 平岡幼稚園

アクションレポート
Action Report
2020.3月~5月

新型コロナウイルスの影響により、3月以降、予定されていたイベントの多くが中止になってしまいました。子どもたちの写真をほとんど掲載できなかったのが残念です。

今後もしばらくの間は活動に制限がかかりますが、地域の自然のために、各自ができる事をできる範囲で、さまざまな角度より実践していきたいと思っております。

2019年5月3日 真鶴半島自然公園にて

平塚市博物館 新着資料展

園寄贈のハルゼミの標本が展示されました。

平塚市博物館に寄贈した標本が、6月20日(土)~7月12日(日)に平塚市博物館で行われた新着資料展で展示されましたのでご報告します。

この標本は2019年のハルゼミ調査の際に得られたもので、中井町産のハルゼミ(♂・♀)です。

平塚市博物館では湘南地域のハルゼミ標本は未所蔵とのことでしたので、地域の貴重な資料となると思い寄贈しました。

今後も生息状況調査に加えて、適宜、必要とされる種の標本を残す活動を行っていききたいと思っております。



平塚市 環境パネル展

園の環境教育活動をパネルで紹介してきました。

令和2年3月4日~11日まで、平塚市役所1階多目的ホールで行われた環境パネル展に参加しました。

平岡幼稚園は、活動パネルと湘南自然誌の展示をしましたのでご報告します。



平塚市 HP ひらつか環境ファンクラブ
イベント情報ページ URL

http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kankyo/page-c_02514.html

環境パネル展って?

平塚市を中心に活動する団体が、環境問題について伝えたいことや日頃の活動成果などを発表する、平塚市環境政策課とひらつか環境ファンクラブが主催するイベントです。

今年は14団体が参加しました。

わかば 環境 ISO

園の環境への取り組みが評価され、今年も証書をいただきました。

「わかば環境 ISO」に参加して満6年、令和元年度も平塚市長より証書をいただきました。「省資源」「省エネ」「ゴミの減量化」の共通メニューの他に、我が園では独自メニューとして「ビオトープ」の活動を実践しております。

詳細は、平塚市 HP に掲載されている「平岡幼稚園の評価及び取組報告書 (PDF176KB)」をご参照下さい(「わかば環境 ISO」で検索、あるいは以下の URL から)。

平塚市 HP わかば環境 ISO ページ URL

http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyoiku/page-c_02107.html



わかば環境 ISO って?

平塚市内の幼稚園・小学校・中学校が参加し、環境にやさしい教育活動を平塚市(平塚市教育委員会・平塚市環境政策課)が認証する制度です。

文献紹介

園の活動で得られた
新知見を学術誌に
発表しました。



【文献情報】

堀田佳之介・平岡幼稚園「平岡いきものはっけん隊」, 2020. 神奈川県におけるハルゼミの生息状況調査 (2019年), 平塚市博物館研究報告 自然と文化, (43): 3-12.

①神奈川県内のハルゼミ調査報告 (2019年)

2019年 4月～6月にかけて県内のハルゼミの生息状況の調査を行い、厚木市七沢、相模原市緑区 (旧城山町) など4か所でハルゼミの生息を確認することができました。

結果の詳細は、2020年3月発行の平塚市博物館研究報告自然と文化第43号に掲載されていますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。



ハルゼミってどんな虫?

寄主植物がマツ類に限られるハルゼミは、1960年代以降、マツ枯れや植生遷移による生息環境の悪化により、県内の産地は次々と消滅してしまいました。県東部では既に絶滅と考えられ、県西部でもかなり局所的にしか分布していません。

②湘南自然誌の出版活動の報告

湘南自然誌の活動をまとめて、神奈川県昆虫談話会が発行する「神奈川県虫報 第201号」に投稿しました。

「みんなで作る生きもの図鑑」に投稿された昆虫を各分類群ごとの種数や、市町村別の投稿数をまとめたほか、子どもたちと本誌との関わりなども、少しですが写真とともに紹介させていただきました。

この報文の別刷をご希望の方は平岡幼稚園までお申し出下さい。

【文献情報】

堀田佳之介・富岡誠一, 2020. 幼稚園児らによる昆虫等の生息情報を掲載する自然情報誌「湘南自然誌」の出版活動について. 神奈川県虫報, (201): 25-29.



③外来種クスベニヒラタカスミカメの県内の分布調査

クスベニヒラタカスミカメは、中国原産の外来種です。2018年11月に平岡幼稚園の敷地内で神奈川県で2例目となる個体が発見されたことがきっかけで、2019年7月～2020年2月にかけて神奈川県内の15市5町、37地点の調査を行い、その結果を報告しました。

【文献情報】

堀田佳之介, 2020. 神奈川県における外来種クスベニヒラタカスミカメの分布調査. 神奈川県虫報, (201): 69-72.



④オオクチブトカメムシを大磯丘陵で採集

園が参加する平塚市の生物調査において、神奈川県内では平地～丘陵地で記録がなかったオオクチブトカメムシを複数採集したので報告しました。

【文献情報】

堀田佳之介, 2020. オオクチブトカメムシを大磯丘陵で採集. 神奈川県虫報, (201): 85.



※②～④の神奈川県虫報は、神奈川県立生命の星地球博物館2階ライブラリー、神奈川県立図書館などで閲覧できます。(平岡幼稚園でも閲覧可能です)

第1回 心が育つ 幼児教育



露木 和男 先生 Profile

1949年、福岡市生まれ。福岡教育大学卒業後、小学校教員を経て早稲田大学教育・総合科学学術院教授に就任。教員を目指す大学生に、理科の面白さや自然観察の楽しさを伝える。2016年秋学期早稲田大学ティーチングアワード総長賞受賞。2020年3月、定年により退職。

著書に、『小学校理科 授業の思想—授業者としての生き方を求めて—』（不昧堂出版）、『ワールドサイエンスのすすめ—自然で学び、科学の好きな子に育てる—』（早稲田大学出版部）、『やさしさ』の教育—センス・オブ・ワンダー—を子どもたちに』（東洋館出版社）など多数。



アサギマダラ 9月 富士山滝沢林道で

虫を愛する子と 「やっしゅ」

文・写真 露木和男

『湘南自然誌』に載せられている園児の皆さんの、虫を持つ表情はみなすてきです。ドキドキしながら虫をつかみ、指先に虫の生きている感覚をそのまま感じとっているのでしょうか。

私は、幼いころに子どもが昆虫に触れる機会をもつことの大切さをずっと考えてきました。それは、第一に、昆虫は人間とはまったく違った生き方をしているということに気づいていくからです。「食べる」など、生きる上での基本的なことは同じでも、さまざまな工夫をしながら必死に生きている姿は、私たち人間とはずいぶん違っていて驚くのです。昆虫は私たちからすれば「異文化」の生き物です。人間もまた文化の違う者同士これから共存していく必要があります。昆虫に学ぶことは、私たち人間もまた異なった文化を持つ人たち同士が互いに理解し合うことにつながっていくのだと思います。

第二に、昆虫の世界の多様性に気づいていくことの価値です。昆虫ほど多様性に満ちている世界はありません。私たち人間もまた多様な存在です。多様であるからこそ素晴らしい文化も生まれるのです。

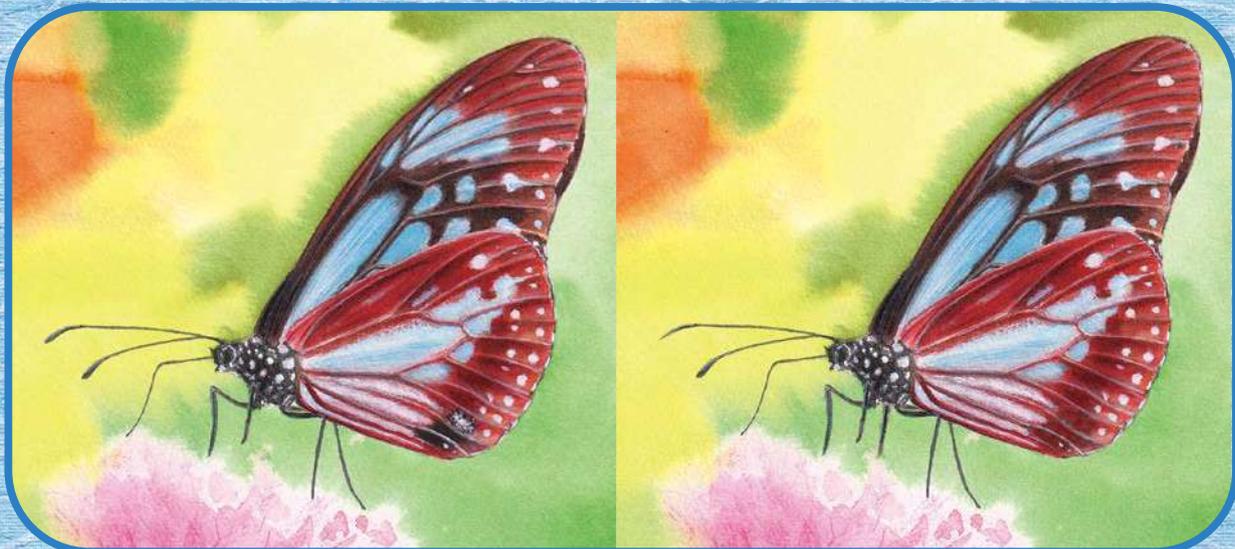
園児の皆さんが多様な昆虫に親しみ学んでいることに、私は日本の未来を担う姿を感じています。

左右の絵で違うところを探してみよう！まちがい箇所は5つ。
題材はアサギマダラです。みんなはいくつ見つかるかな？
(答えは裏表紙にあります。)

知育
ゲーム
第1回

まちがい探し

出題：編集部 画：富岡誠一



絵画投稿コーナー



おえかきひろば



自分が感じた自然の楽しさや不思議を絵に描いてみんなに伝えてみよう！

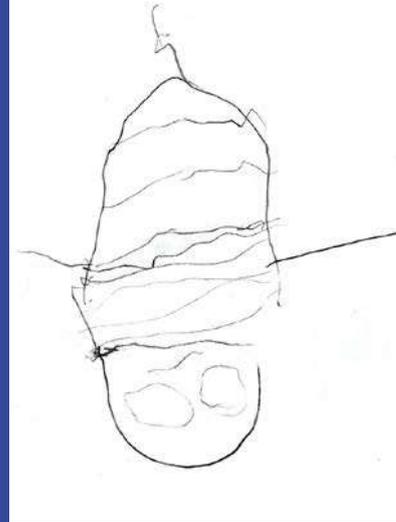
「お休み中に見つけた生きもの1」 小野麻琴 (5才)



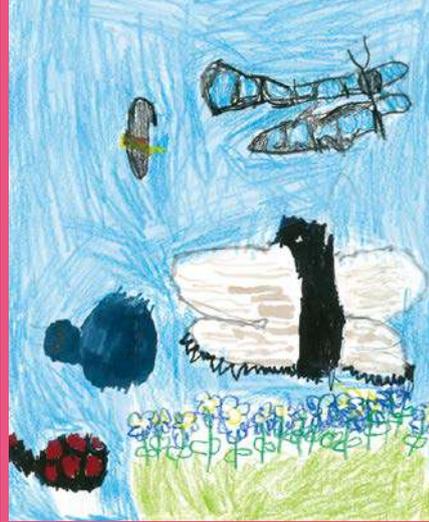
「あつまれおさかなのもり」
江原希音 (5才)



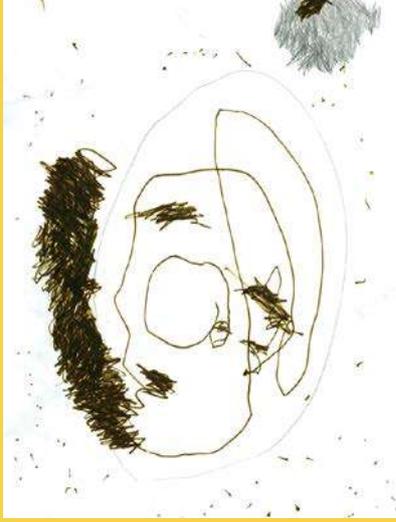
「はちがとんでいる」高村耕太郎 (4才)



「お休み中に見つけた生きもの2」 小野麻琴 (5才)



「ようちゅう」 高村耕太郎 (4才)



「くわがたが木にいる」
高村耕太郎 (4才)



「ハロウィンおはなし」
嶋津利乃 (5才)



※ 表紙絵の選考は未就学児が対象となります。
裏に題名・氏名・年齢を書いて
平岡幼稚園まで

生きもの絵画大募集!

A4・縦向きで

今回の表紙絵は、在園中に描かれた作品から教職員 19 名で投票を行い選出しました。

NEWS

湘南自然誌がISSNコードを取得

ISSN (International Standard Serial Number: 国際標準逐次刊行物番号) とは、逐次刊行物を識別するための国際的なコード番号で、日本では国立国会図書館内にある日本ISSNセンターが管理しています。湘南自然誌は、2020年6月16日附でISSNに登録されました。前号までと同様、引き続き国立国会図書館の蔵書として、本誌が広く国民に公開されます。地域の自然情報を多くの人に届けられるよう、今後も皆さんと一緒に誌面を盛り上げていきましょう!

本誌タイトル等の変更について

本誌の出版とともに活動を行っていた「平岡いきものはっけん隊」は、2020年4月より平岡幼稚園の父母による会「平岡みんなの会」と統合しました。その関係で、本誌のタイトル「平岡いきものはっけん隊」からお届けする地域の自然情報誌「湘南自然誌」を「湘南自然誌」に改めるなど、各所で細かい変更を行いました。今後も、平岡みんなの会の協力を得ながら、読者の皆さまに有用な地域の自然情報をお届けしていきたくて思っております。

『湘南自然誌』
バックナンバー



① デジタル版をダウンロード

平岡幼稚園のHPからPDFがダウンロードできます。
<http://hiraoka-kg.com/>

② 公共施設で閲覧

以下の公共施設に所蔵されています。

【図書館】国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図書館、横浜市立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館
※印は一定期間の配架(蔵書登録なし)

【博物館等】県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館

【その他】神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののほな館、箱根町立森のふれあい館

③ 平岡幼稚園にて頒布

希望者には無料でひとり1部に限り、園にてお渡ししています。(※ 要事前連絡)
ikimono@hiraoka-kg.com
もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで

書籍の紹介

Vol.13 館野 鴻先生特集の際に製作中だった絵本『がろあむし』が、2020年9月16日に偕成社より出版されます。待望のシリーズ4作目!。現在、予約受付中とのことです(税抜き:2000円)。編集部からのおススメの一冊です!



P22 知育ゲーム まちがい探し の答え

右の絵

白い斑紋が無い

触角の先が尖っている

【豆知識】
チョウは先が太く、ガの多くは先細り型か羽毛状。

脚が多い

【豆知識】
タテハチョウの仲間は4本足に見える(前脚が小さく畳まれている)。

黒い斑紋が無い

【豆知識】
アサギマダラでは、この位置に黒い斑紋があるものはオス。

平岡幼稚園の紹介

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生き物と呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行っています。昭和42年開園、学園地総面積7,501㎡。

【受賞歴】

- 2012年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2011「奨励賞」受賞
- 2014年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2013「日本生態系協会賞」受賞
関東・水と緑のネットワーク拠点100選に「平岡幼稚園ビオトープ」が選定
- 2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
- 2016年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015「日本生態系協会賞」受賞
- 2018年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2017「日本生態系協会賞」受賞
- 2019年 「かながわ地球環境賞」受賞
- 2020年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2019「日本生態系協会賞」受賞

【主な研究・発表実績】

研究テーマ	実施年	発表先
平塚市内のセミのぬけがら調査	2014~18年	平塚市博物館研究報告『自然と文化』、(38~42)
神奈川県におけるハルゼミの分布調査	2015~19年	平塚市博物館研究報告『自然と文化』、(39~43)
平塚市内のトンボ調査	2015~17年	湘南自然誌資料、(38): (共著)
その他	随時	湘南自然誌、Cicada、かまくらちょう等

編集後記

今回、外来種の特集を編集したことで、今まで自宅のすぐそばにあっても気付かなかった多くの外来植物の存在に気付くようになりました。読者にとってもこの特集が外来種問題への認識を深める入り口になればと思います。今号から、早稲田大学元教授の露木先生にコラムを執筆して頂くことになりました。文だけでなく、先生撮影の写真も美しいのでぜひご覧下さい。また、絵を眺めながらゲームを楽しみながら、生きものについての豆知識も少し学べるような「知育ゲーム」も取り入れてみました。次号以降もご期待下さい。最後に、写真を提供して下さい下さった方々と、番号多くの生きもの同定に協力して頂いている岸一弘氏に感謝申し上げます。(富岡)